

# 動物由来感染症を知っていますか？

「動物由来感染症」とは動物から人に感染する病気の総称です。

昨年、東京都内を中心に流行したデング熱も蚊が媒介する動物由来感染症です。

また、ダニ由来は今年に入って徳島県でも感染が確認されており、私たちの生活に身近な感染症です。正しい知識と予防法を身につけることで動物由来感染症にかからないための対策をしましょう。

## ダニ

重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)	
■病原体を持つダニ	マダニ類
■症状等	発熱、消化器症状(食欲低下、嘔気、嘔吐、下痢、腹痛) 頭痛、筋肉痛、神経症状(意識障害、痙攣、昏睡)、リンパ節腫張、出血症状等
■潜伏期間	6日～14日間ほど

日本紅斑熱	
■病原体を持つダニ	マダニ類
■症状等	頭痛、倦怠感、寒気等のかぜ症状とともに急激な発熱、顔面や手に紅斑
■潜伏期間	2日～8日間ほど

### 予防法

※マダニは家ダニなどとは違う種類で、10mmほどの野山に生息しているマダニです。

草むらや山など、マダニが生息する場所に行く場合には、長袖・長ズボン・長靴・手袋、首にタオルを巻くなど、肌の露出をできるだけ少なくすることが大切です。虫除けスプレーも一定の忌避効果が得られます。屋外活動後は入浴し、マダニが付着していないか注意深く全身チェックをしましょう。

### マダニに刺されたら…

マダニ類の多くはしっかりと口器を突き刺し、数日間吸血します。無理に引き抜こうとすると、口器の一部が皮内に残ってしまうことがあるので医療機関で処置してもらってください。1～2週間は、発熱、嘔吐、下痢などに注意し、症状があれば直ちに医療機関を受診してください。

## 蚊

デング熱	
■感染経路	ウイルスを持っている蚊に刺されることで感染する
■病原体を持つ蚊	ヒトスジシマカ
■症状等	突然の高熱、発疹、頭痛、眼痛、顔面紅潮、結膜充血を伴い、発熱は2～7日続く
■潜伏期間	3～7日(最大期間2～14日)

### 予防法

ヒトスジシマカの幼虫は比較的小さい容器に発生し、住宅地では植木鉢やプランターの水の受け皿や庭先のバケツや壺、古タイヤなどが発生源となります。雨水が溜まった容器をを逆さにして水を無くすことや水が溜まらないように整頓する等、発生源をなくすことが重要です。

蚊に刺されないように皮膚の露出ができるだけ少ない服装をしたり、忌避剤の利用も効果的です。

## 手足口病にご注意!!

手足口病は、子どもを中心に夏に流行する、口の中や手足などに水疱性の発疹の出るウイルス性の感染症です。感染経路は飛沫感染、接触感染、糞口感染(便の中に排出されたウイルスが口に入って感染すること)が知られています。手洗い、うがいの励行、タオルの共用は避ける等の予防を心がけてください。